



統合生命科学プログラム 統合生命科学実践コース

2017年度 後期

統合生命科学が目指す学際横断的な統合アプローチを実践し、新分野創成を目指す研究者の養成のために、講義と実地教育を通して、新しい生命科学の実験技術の習得を目指す。分子から個体へ、植物と動物の発生、進化生物学に至る最新の研究手法をその分野の第一線で活躍する若手研究者からホットな情報の発信を行う。教室講義から実験技術まで統合的に習得することを目的とする。

講義実施日：

講義 1 10/19 10:00-12:00 (栗原)
講義 2 10/26 10:00-12:00 (佐藤)
講義 3 10/26 13:30-15:30 (宮成)

実地実施日：

実地 1 11/15 13:30-15:30 (佐藤)
実地 2 11/15 15:30-17:30 (宮成)
実地 3 11/16 10:00-12:00 (川出)
実地 4 11/16 13:00-15:00 (栗原)
実地 5 11/16 15:30-17:30 (内山)

講義計画：

1. 分子システムとして創る人工細胞(栗原)：教室講義，10/19
2. 細胞計測工学(佐藤)：教室講義，10/26
3. リプログラミングの謎に迫る(宮成)：教室講義，10/26
4. 細胞等価回路の製作と測定(佐藤)：実地，11/15
5. ES細胞のライブイメージング(宮成)：実地，11/15
6. 植物の一次代謝と発生の関係について：実地，11/16
7. ベシクル型人工細胞の調製と観察(栗原)：実地，11/16
8. 超分子質量分析によるタンパク質複合体の分子量決定(内山)：講義及び実地，11/16

担当教員：

川出健介 (統合バイオ特任准教授)
栗原顕輔 (統合バイオ特任准教授)
佐藤幸治 (統合バイオ特任准教授)
宮成悠介 (統合バイオ特任准教授)
内山進 (大阪大学, 統合バイオ客員准教授)

※実地は、遠隔地の学生を考慮して、岡崎統合バイオで集中講義として実施します。

統合生命科学教育プログラム事務局

<http://ibep.nips.ac.jp/>

✉ ibep@ml.soken.ac.jp